

# 第82期報告書

(平成23年4月1日から平成24年3月31日まで)

Speciality  
Chemical  
Partner



荻川化学工業株式会社



代表取締役社長 末村 長弘

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。ここに、第82期報告書（平成23年4月1日から平成24年3月31日まで）をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

当期の国内経済は、東日本大震災の影響による落ち込みから持ち直しの動きもみられましたが、欧州を中心とする海外景気の減速や円高の進行などにより、厳しい状況が続きました。

また、世界経済は、米国経済の緩やかな回復はありましたが、欧州の金融危機の影響により、けん引役であった新興国において輸出が減少するなど景気の回復は弱いものとなりました。

このような環境のもと、当社グループにおきましては、生産プロセスの合理化など徹底したコスト低減を推進するとともに、主原料であるロジンをはじめとする原材料価格の変動に対応した製品価格の改定に努めてまいりました。また、超淡色ロジン、光硬化型樹脂および電子材料用配合製品などの高付加価値製品を中心に拡販を推進してまいりました。海外におきましては、中国などのアジア地域ならびに欧州における拡大を推進してまいりました。

しかしながら、東日本大震災の影響や電子工業業界の低迷などによる需要減少に加え、設備投資にともなう減価償却費の増加やロジン価格の急激な変動もあり、収益性が悪化しました。

その結果、当期の売上高は707億81百万円(前期比6.5%増)、営業利益は17億79百万円(同36.0%減)、経常利益は18億58百万円(同37.6%減)、当期純利益は13億68百万円(同15.5%減)となりました。

なお、期末の配当金は、業績等を総合的に勘案し、1株につき11円50銭とさせていただきます。これにより中間配当(1株につき11円50銭)を含めました当期の年間配当金は、23円となりました。

荒川化学グループにおきましては、さらなる発展を目指して、第2次中期5ヵ年経営計画（平成20年4月から平成25年3月まで）におきまして、さまざまな施策を推進しております。

基盤事業では、耐震化と合理化のため、富士工場の粘着・

接着剤用樹脂設備を更新しました。また、超淡色ロジンの拡販と2拠点化のため、小名浜工場に生産設備を新設しました。

伸長事業では、ペルノックスに導電性材料の生産設備を新設しました。また、シリカハイブリッドポリイミドフィルム「ポミラン」の事業展開をいっそう加速させるため、タイマイト・テクノロジー社との間で合弁会社ポミラン・テクノロジー社（柏彌蘭科技股份有限公司）を台湾に設立しました。

先行きの世界経済は、欧州の金融不安や原油の高騰など景気の下振れリスクはあるものの、引き続き中国を中心とした新興国にけん引され、緩やかな回復が続くと予想されています。一方、国内経済は、震災復興需要の高まりや政策効果を背景に持ち直しが期待されますが、円高や電力供給不安などにより、先行きは不透明となっております。

当社グループにおきましては、石油化学原料の価格上昇に加え、減価償却費の増加により、収益を圧迫する厳しい状況が続くと想定しておりますが、第2次中期5ヵ年経営計画に掲げた基本方針のもと、さらなる各種コスト削減に努めるとともに、各事業の拡大による持続的な発展を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 第2次中期5ヵ年経営計画 キャッチフレーズ

## PINE DASH 1000

- 「PINE」 松の木、当社を代表する原料であるロジンをイメージ、本業重視を継続する  
Proactive Innovation for New Era  
(新しい時代へ、新機軸の先取り)
- 「DASH」 Dynamic Action for Shining History  
(躍動、輝ける未来のために)
- 「1000」 当社創業140周年となる2016年度には、企業成長のひとつのベンチマークである売上高1,000億円を超える姿でありたい

株主の皆様へ	1・2
What is ROSIN?	
御仏に命を吹き込む、ロジンの力	3・4
事業の概況	5・6
連結財務諸表	7
個別財務諸表	8
Information	
ポミラン	9
先端エレクトロニクス分野に展開中	
会社概要	10



# 御仏に命を吹き込む、ロジンの力

柔和な微笑を口元にたたえ、慈愛に満ちた姿で私たちを見守る古代の仏たち。遠く白鳳時代\*1に鑄造された仏像は、悠久の時を超えてなお、私たち現代人の心をも捉えて離しません。これらの仏たちを形づくるための型に使われたのがロジン（松脂）。当時、先端技術だった鑄造法とロジンとの関わりを紐解きます。

\*1. 7世紀の大化の改新から平城京遷都までの時代

## 高度な技術を大陸からもたらし、 工芸をはじめ広範な分野で活躍した「渡来人」

いにしへの奈良の都、薬師寺に鎮座するのが薬師三尊像。この、白鳳時代を代表する金銅製の仏像は「蠟型」と呼ばれる鑄造法で作られています。

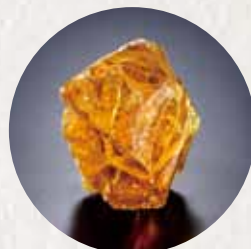
白鳳時代の初期、仏教の伝来とともに中国大陸や朝鮮半島から逃れた「渡来人」が数多く日本に帰化します。彼らは、高名な仏師・鞍作止利を輩出した鞍作部など、得意とする分野によっていくつかの技術者集団を形成。蘇我氏をはじめとする当時の権力者に仕え、農機具や美術工芸品の制作から土木事業にいたるまで幅広く活躍しました。ちなみに、鞍作部は「蠟型」に精通した一派であったと言われています。

## ロジンと蜜蝋が作り出す繊細な表情が、仏に命を吹き込む

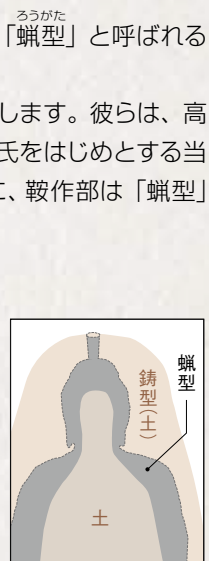
白鳳時代に用いられた「蠟型」の鑄造法は、まず、松脂と蜜蝋\*2をよく混ぜ合わせてやわらかくし、型の原型をつくります。その周囲を土で塗り固めて鑄型を作成。乾燥した後、焼いて蠟の型を溶かしその隙間に金属を流し込み完成させます。

木型や金型で鑄造するより、蜜蝋に粘着力の強い松脂を加えることで、より繊細な紋様を表現できることがこの工法\*3の最大の魅力。こうして、仏像制作は新たな段階を迎え、薬師三尊像のような傑作が次々と生み出されることになったのです。

\*2. 蜜蝋の巣の成分である蝋 \*3. ジェットエンジン部品など現代の複雑精密な鑄物製品をつくる技術は、この方法を改良した「ロストワックス法」です



ロジン



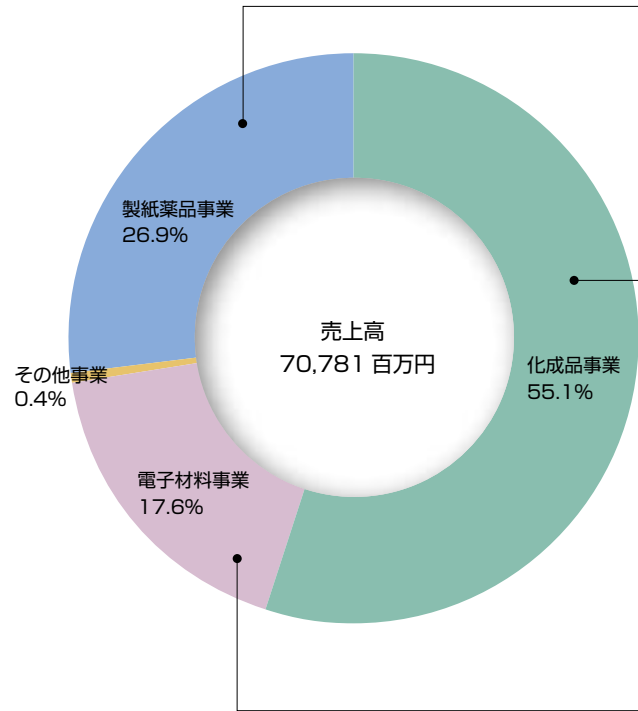
写真提供：薬師寺

蠟型鑄造の頂点をなす、薬師寺金堂の薬師三尊像。薬師如来を中尊とし、両脇に日光月光菩薩を従え、薬師如来が住まうという「浄瑠璃浄土の世界」を表現

◎荒川化学の初代社長 荒川正太郎は、第二次大戦直後、薬師寺の管主であった橋本凝胤師と親交を結びました。苦しい経済状態であった薬師寺に金堂の丹塗りや南門の修理を寄進したご縁で、橋本凝胤師や高田好胤師に荒川化学の慰霊祭で導師をとめていただいたことがありました。

法相宗大本山薬師寺 〒630-8563 奈良県奈良市西ノ京町 457 電話 0742-33-6001 近鉄橿原線西ノ京駅すぐ





### 製紙薬品事業



国内製紙業界は、需要の低迷や輸入紙の増加などにより印刷用紙の生産は減少しましたが、段ボール原紙など板紙の生産は堅調に推移しました。一方、中国製紙業界においては、需要の増加にともない、生産が拡大しました。このような環境のもと、当事業におきましては、中国や台湾における需要が伸び、売上が増加しました。利益面では、原材料の価格上昇などが国内の収益を圧迫したものの、海外子会社の寄与により、全体では増益となりました。

その結果、売上高は190億21百万円(前期比5.8%増)、セグメント利益は8億99百万円(同10.5%増)となりました。

### 化成品事業



国内の印刷インキや粘着・接着剤業界は、出版・広告分野などで、低調に推移しました。このような環境のもと、国内事業におきましては、印刷インキ用樹脂の需要が大きく落ち込み、売上が減少しました。一方、海外事業におきましては、荒川ヨーロッパ社の連結子会社化と期間前半における需要の拡大により、粘着・接着剤用樹脂の売上が増加しました。利益面では、国内の印刷インキ用樹脂などの大幅な需要減少に加え、原材料の価格上昇により採算性が悪化し、減益となりました。

その結果、売上高は389億67百万円(前期比14.9%増)、セグメント利益は10億90百万円(同27.2%減)となりました。

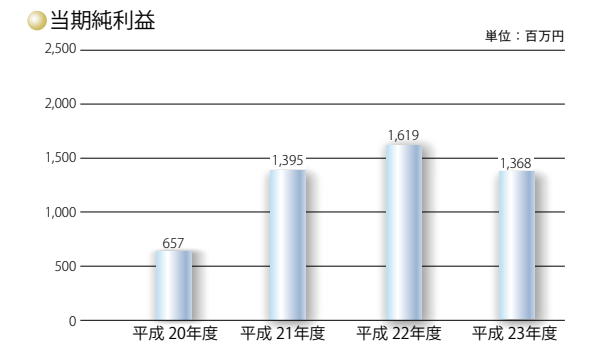
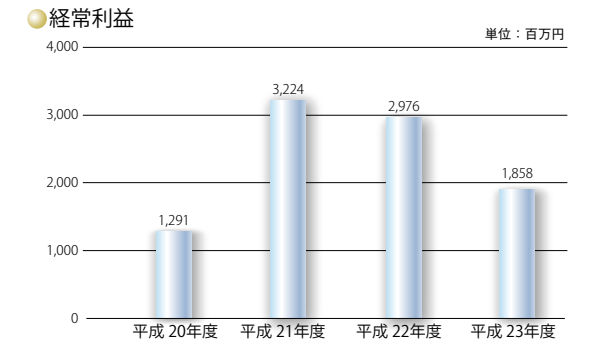
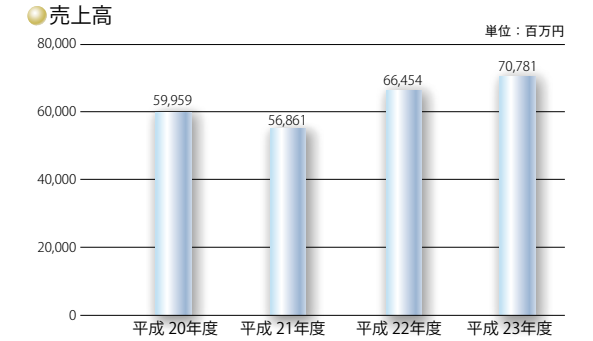
### 電子材料事業



電子工業業界は、スマートフォンの拡大があったものの、薄型テレビやノートパソコンなどの需要が低迷しました。このような環境のもと、当事業におきましては、光硬化型樹脂は一部用途で伸びもみられましたが、電子材料用配合製品と機能性ファインケミカル製品の売上が減少しました。利益面では、光硬化型樹脂の設備投資にともなう減価償却費の増加に加え、電子材料用配合製品の販売が低調に推移し、損失となりました。

その結果、売上高は124億90百万円(前期比12.6%減)、セグメント損失は4億95百万円(前期はセグメント利益4億47百万円)となりました。

## 業績の推移



連結貸借対照表

科目	前期 (23.3.31現在)	当期 (24.3.31現在)
<b>[資産の部]</b>		
流動資産	47,427	48,321
現金及び預金	6,443	5,678
受取手形及び売掛金	25,554	27,482
たな卸資産	13,656	13,327
その他	1,883	1,947
貸倒引当金	△ 110	△ 115
固定資産	29,013	28,786
有形固定資産	23,846	23,010
建物及び構築物	6,929	8,700
機械装置及び運搬具	7,581	9,151
土地	5,328	4,700
その他	4,007	459
無形固定資産	729	795
投資その他の資産	4,438	4,981
投資有価証券	3,861	4,074
その他	600	914
貸倒引当金	△ 23	△ 7
資産合計	76,441	77,108

連結損益計算書

科目	前期 (22.4.1から23.3.31まで)	当期 (23.4.1から24.3.31まで)
売上高	66,454	70,781
売上原価	52,992	58,203
売上総利益	13,462	12,577
販売費及び一般管理費	10,684	10,798
営業利益	2,777	1,779
営業外収益	550	436
営業外費用	352	357
経常利益	2,976	1,858
特別利益	166	322
特別損失	657	221
税金等調整前当期純利益	2,484	1,959
法人税、住民税及び事業税	903	439
法人税等調整額	△ 147	17
少数株主利益	107	133
当期純利益	1,619	1,368

貸借対照表

科目	前期 (23.3.31現在)	当期 (24.3.31現在)
<b>[資産の部]</b>		
流動資産	34,631	37,087
現金及び預金	2,856	3,037
受取手形	1,008	1,220
売掛金	18,758	20,914
たな卸資産	8,695	8,942
その他	3,402	3,062
貸倒引当金	△ 90	△ 90
固定資産	30,896	30,278
有形固定資産	15,267	15,170
建物及び構築物	4,453	5,903
機械及び装置	2,864	4,947
土地	4,605	3,983
その他	3,342	335
無形固定資産	276	261
投資その他の資産	15,352	14,846
投資有価証券	3,763	3,978
その他	11,597	10,875
貸倒引当金	△ 7	△ 7
資産合計	65,527	67,365

損益計算書

科目	前期 (22.4.1から23.3.31まで)	当期 (23.4.1から24.3.31まで)
売上高	52,010	51,899
売上原価	42,401	43,644
売上総利益	9,609	8,255
販売費及び一般管理費	8,428	7,995
営業利益	1,180	260
営業外収益	1,083	1,286
営業外費用	176	213
経常利益	2,088	1,333
特別利益	96	212
特別損失	630	210
税引前当期純利益	1,554	1,335
法人税、住民税及び事業税	500	90
法人税等調整額	△ 221	404
当期純利益	1,275	840

(単位：百万円)

科目	前期 (23.3.31現在)	当期 (24.3.31現在)
<b>[負債の部]</b>		
流動負債	28,824	28,822
支払手形及び買掛金	11,999	11,782
短期借入金	11,549	12,131
その他	5,275	4,908
固定負債	10,210	10,375
社債	5,000	5,000
長期借入金	2,847	3,080
退職給付引当金	2,078	1,920
その他	284	374
負債合計	39,034	39,197
<b>[純資産の部]</b>		
株主資本	36,647	37,532
資本金	3,128	3,128
資本剰余金	3,350	3,350
利益剰余金	30,180	31,065
自己株式	△ 11	△ 11
その他の包括利益累計額	△ 366	△ 703
その他有価証券評価差額金	528	578
為替換算調整勘定	△ 895	△ 1,281
少数株主持分	1,126	1,081
純資産合計	37,407	37,910
負債純資産合計	76,441	77,108

連結株主資本等変動計算書

科目	前期 (22.4.1から23.3.31まで)	当期 (23.4.1から24.3.31まで)
純資産合計		
当期首残高	36,880	37,407
当期変動額		
剰余金の配当	△ 513	△ 483
当期純利益	1,619	1,368
自己株式の取得	△ 0	△ 0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△ 579	△ 381
当期変動額合計	526	503
当期末残高	37,407	37,910

連結キャッシュ・フロー計算書

科目	前期 (22.4.1から23.3.31まで)	当期 (23.4.1から24.3.31まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,810	2,115
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 7,846	△ 3,265
財務活動によるキャッシュ・フロー	9,352	464
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 107	△ 69
現金及び現金同等物の増加額 (△は減少額)	△ 411	△ 755
現金及び現金同等物の期首残高	6,745	6,333
現金及び現金同等物の期末残高	6,333	5,577

(単位：百万円)

(単位：百万円)

科目	前期 (23.3.31現在)	当期 (24.3.31現在)
<b>[負債の部]</b>		
流動負債	21,504	22,818
支払手形	1,722	2,008
買掛金	6,565	7,397
短期借入金	7,153	8,153
1年内返済予定の長期借入金	1,786	1,286
その他	4,277	3,973
固定負債	9,539	9,654
社債	5,000	5,000
長期借入金	2,600	2,833
退職給付引当金	1,702	1,549
その他	235	271
負債合計	31,043	32,472
<b>[純資産の部]</b>		
株主資本	33,939	34,296
資本金	3,128	3,128
資本剰余金	3,350	3,350
利益剰余金	27,472	27,829
自己株式	△ 11	△ 11
評価・換算差額等	544	596
その他有価証券評価差額金	544	596
純資産合計	34,484	34,892
負債純資産合計	65,527	67,365

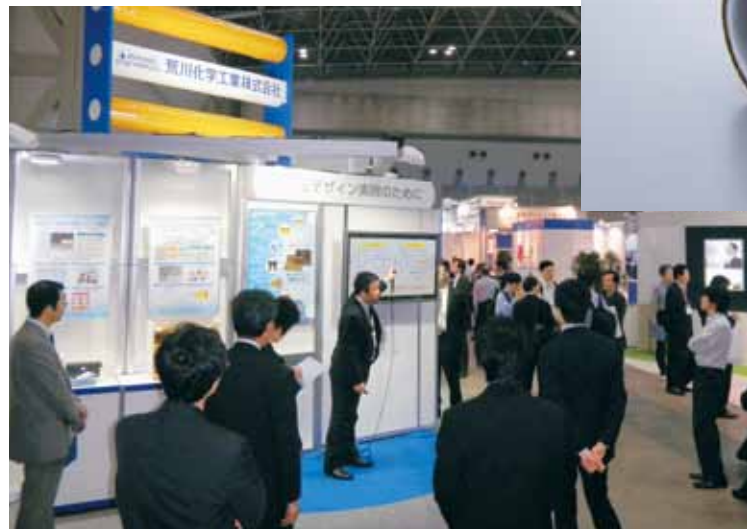
株主資本等変動計算書

科目	前期 (22.4.1から23.3.31まで)	当期 (23.4.1から24.3.31まで)
純資産合計		
当期首残高	33,838	34,484
当期変動額		
剰余金の配当	△ 513	△ 483
当期純利益	1,275	840
自己株式の取得	△ 0	△ 0
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△ 116	51
当期変動額合計	645	408
当期末残高	34,484	34,892

(単位：百万円)

# ポミラン 先端エレクトロニクス分野に展開中

ポミランは、当社の有機・無機ハイブリッド技術とタイムイド・テクノロジー社（本社：台湾新竹県）のフィルム化技術を融合させて開発したポリイミドフィルムです。ガラスやシリコンウエハと同じように高温でも膨張しにくく、非常に安定性に優れ、めっきが付くというこれまでのポリイミドフィルムには無い特徴を持っています。その特徴を活かし、電子ペーパー、太陽電池用基板や、高精細なフレキシブル回路基板などへ販売活動を行なっています。



ポミラン

各種展示会にも出展し好評を博しています。

## 会社概要 (平成24年3月31日現在)

商号 荒川化学工業株式会社  
 創業 明治9年(1876年)  
 設立 昭和6年1月(1931年)  
 資本金 31億2,830万円  
 グループ従業員 1,319名  
 主な事業内容 次の製品の製造および販売  
 製紙用薬品、印刷インキ用樹脂、塗料用樹脂、  
 粘着・接着剤用樹脂、合成ゴム重合用乳化剤、  
 光硬化型樹脂、電子材料用配合製品、  
 精密部品洗浄剤および洗浄装置  
 ホームページアドレス <http://www.arakawachem.co.jp>

## 役員 (平成24年6月20日現在)

代表取締役社長 末村 長 弘  
 常務取締役 松本 圭 三  
 常務取締役 谷 奥 勝 三  
 常務取締役 眞鍋 好 輝  
 取締役 延 廣 徹  
 取締役 辰 巳 純 一  
 取締役 宇 根 高 司  
 取締役 荒 川 壽 正  
 取締役 西 川 学  
 監査役(常勤) 山 中 勝 之  
 監査役(常勤) 厚 朴 裕 一  
 監査役 岩 城 本 臣  
 監査役 中 西 隆 夫

(注) 監査役岩城本臣および中西隆夫の両氏は、社外監査役であります。

## 株式の状況 (平成24年3月31日現在)

発行可能株式総数 52,800,000株  
 発行済株式の総数 20,150,400株  
 株主数 3,680名  
 大株主(上位10名)

株主名	持株数	持株比率
日本トラスティ・サービス 信託銀行株式会社(信託口)	1,398千株	6.94%
荒川化学従業員持株会	1,106	5.49
株式会社三菱東京UFJ銀行	940	4.67
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	703	3.49
荒川壽正	593	2.95
三菱化学株式会社	406	2.02
荒川彦二	400	1.99
株式会社みずほ銀行	397	1.97
株式会社三井住友銀行	396	1.97
王子製紙株式会社	345	1.72

(注) 持株比率は、自己株式(11,766株)を控除して計算しております。

## グループ会社の状況 (平成24年3月31日現在)

会社名	資本金	議決権比率
Arakawa Europe GmbH	52千ユーロ	100%
広西梧州荒川化学工業有限公司	11,500千米ドル	100%
梧州荒川化学工業有限公司	3,500千米ドル	100%
南通荒川化学工業有限公司	5,500千米ドル	100%
ペルノックス株式会社	60百万円	100%
高圧化学工業株式会社	60百万円	100%
ARAKAWA CHEMICAL(THAILAND)LTD.	119,000千タイバツ	100%
台湾荒川化学工業股份有限公司	149,226千新台幣元	60%
荒川化学合成(上海)有限公司	1,800千米ドル	100%
Arakawa Chemical(USA)Inc.	1,400千米ドル	100%
カクタマサービス株式会社	100百万円	100%
HONG KONG ARAKAWA CHEMICAL LTD.	4,000千米ドル	60%
廈門荒川化学工業有限公司	5,603千米ドル	間接60%
柏彌蘭科技股份有限公司	1,000千新台幣元	60%

(注) 柏彌蘭科技股份有限公司は、平成24年2月に設立いたしました。

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで		
定時株主総会	6月中		
基準日	定時株主総会	3月31日	
	剰余金の配当	期末	3月31日
		中間	9月30日
公告方法	日本経済新聞		
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社		
同連絡先 (お問い合わせ先)	大阪市中央区伏見町3丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 電話 0120-094-777 (通話料無料)		

### (ご注意)

- 1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

## 荒川化学工業株式会社

大阪市中央区平野町1丁目3番7号 〒541-0046  
電話 06-6209-8500(代表)



地球に優しいベジタブルインクを使用しております。